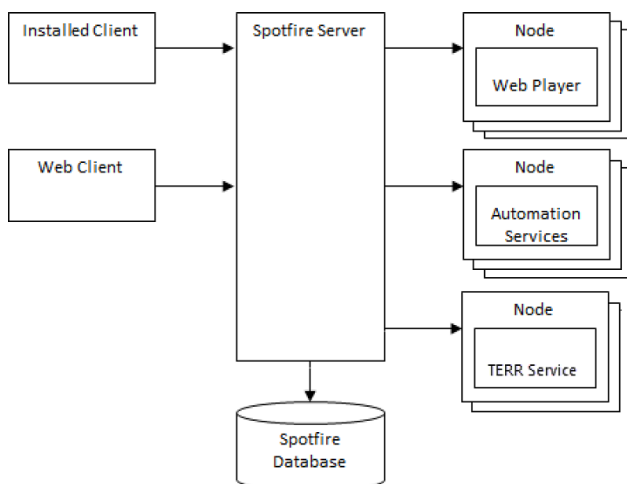


- 概要
- ECL利用サービス一覧
 - 仮想サーバー
- 各仮想サーバー上のhostsについて
- ECLサービス利用開始手順
 - 仮想サーバー起動 (spotfire-server01)
 - 1. ボリュームの作成
 - 1-1. 「ボリュームの作成」 ボタンをクリック
 - 1-2. 設定値入力
 - 2. インスタンスの作成
 - 2-1. インスタンスの作成ボタンをクリック
 - 2-2. 設定値入力
 - 詳細
 - ネットワーク
 - 仮想サーバー起動 (spotfire-node01)
 - 1. ボリュームの作成
 - 1-1. 「ボリュームの作成」 ボタンをクリック
 - 1-2. 設定値入力
 - 2. インスタンスの作成
 - 2-1. インスタンスの作成ボタンをクリック
 - 2-2. 設定値入力
 - 詳細
 - ネットワーク

概要

Spotfire10.3系のサーバー式をECL上に構築します。
プラットフォームはWindowsを利用します。
構成は以下のとおりです。



この手順では、

- **Spotfire Server × 1 台**
- **Spotfire Database × 1 台** (Spotfire Server に相乗り)

- Node × 1 台

の構成で進めます。

仮想サーバーホスト名は以下のとおりです。

No	コンポーネント	ホスト名	用途
1	Spotfire Server	spotfire-server01	Spotfire Server, Database
2	Node	spotfire-node01	Node Web Player Automation Services TERR Service 実行用

ECL利用サービス一覧

仮想サーバー

No	コンポーネント	フレーバー	OS	vCPU	Memory (GiB)	ディスクサイズ	インスタンス数
1	Spotfire Server	2CPU-8GB	Windows Server : Microsoft Windows Server 2016 Base SQL Server : SQL Server 2017	2	8	General Purpose SSD 80GB	1
1	Spotfire Node	2CPU-8GB	Windows Server : Microsoft Windows Server 2016 Base	2	8	General Purpose SSD 80GB	1

各仮想サーバー上のhostsについて

以下の情報を各仮想サーバー上のhostsに記述する

※自身を指すレコードは不要

```
# TIBCO Spotfire server
192.168.22.3    spotfire-server01

# TIBCO Spotfire node
192.168.22.4    spotfire-node01
```

上記は本手順実施時のhosts情報であるため、この手順を参考に別環境を構築する場合は、IPアドレス、ホスト名は適宜置換してください。

ECLサービス利用開始手順

ECLコンソール上で各サービスを利用開始する際に設定した項目を記載しておきます。

この手順を参考にして別環境を構築する場合は、以下の値をそのまま利用できない場合もあるため、必ず適切な値を検討するようにしてください。

あくまでもテスト環境構築時に利用した値です。

また、以下の作業は事前に完了していることとします。

- 仮想サーバーを所属させるロジカルネットワークについては作成
- マネージドファイアウォールの設定（利用する場合）

仮想サーバー起動（spotfire-server01）

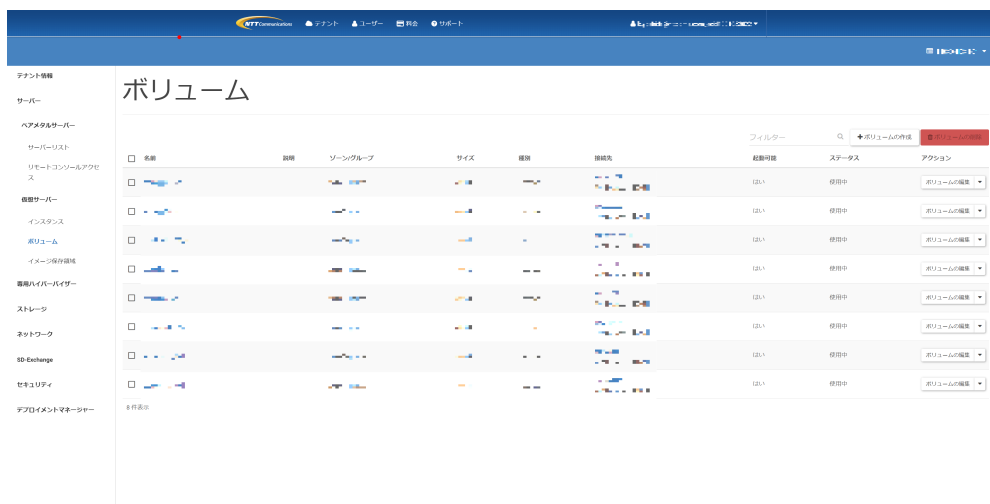
仮想サーバーを起動するまでの手順について説明します。

1. ボリュームの作成

インスタンスのブートソースとなるボリュームを作成します。

1-1. 「ボリュームの作成」ボタンをクリック

仮想サーバー -> ボリュームにて、**ボリュームの作成** ボタンをクリックしてください。



1-2. 設定値入力

ボリュームの作成 モーダルが表示されるので、以下のとおり設定してください。

No	項目	内容
1	ボリューム名	任意のボリューム名を設定してください。
2	ボリュームソース	イメージ
3	イメージをソースとして使用する	SQLServer-2017_Standard_64_Japanese_include-license_WindowsServer-2016_Datacenter_64_include-license_virtual-server_002 (11.7 GB)
4	サイズ(GB)	80
5	ゾーン/グループ	任意のゾーン/グループを設定してください。

設定例は以下のとおりです。

ボリュームの作成

ボリューム名
spotfire-server01

説明
ボリュームは、インスタンスに接続できるブロッケ
デバイスです。

ボリュームの上限
合計ギガバイト (400 GB) 524288 GB 利用可能
ボリューム数 (0) 512 利用可能

ボリュームソース
イメージ
イメージをソースとして使用する
SQLServer-2017_Standard_64_Japanese_Jr
サイズ (GB)
80
ゾーングループ
zone1-groupa

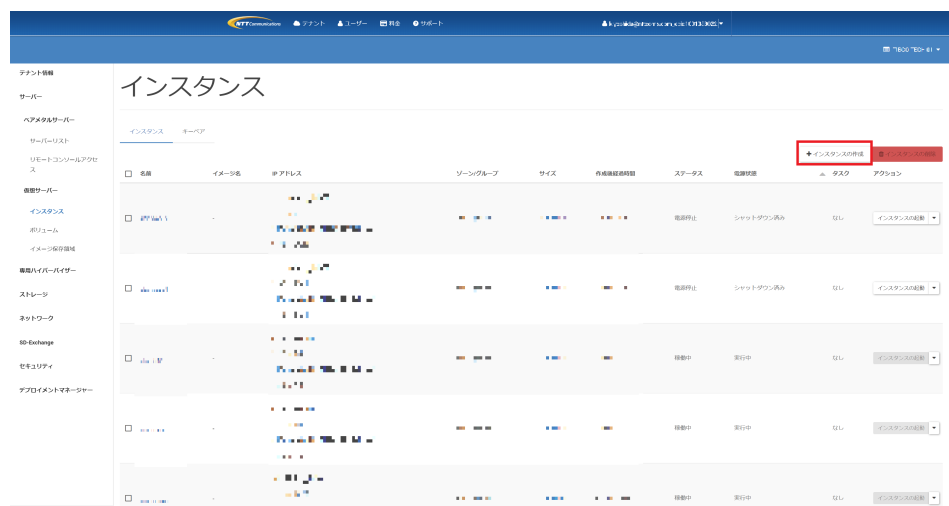
各リソースに対する料金は、作成/変更操作が完了した時点で発生します。
作成前にこちらの注意事項をご確認ください。

取り消し ボリュームの作成

2. インスタンスの作成

2-1. インスタンスの作成ボタンをクリック

仮想サーバー -> インスタンス にて、 **インスタンスの作成** ボタンをクリックしてください。



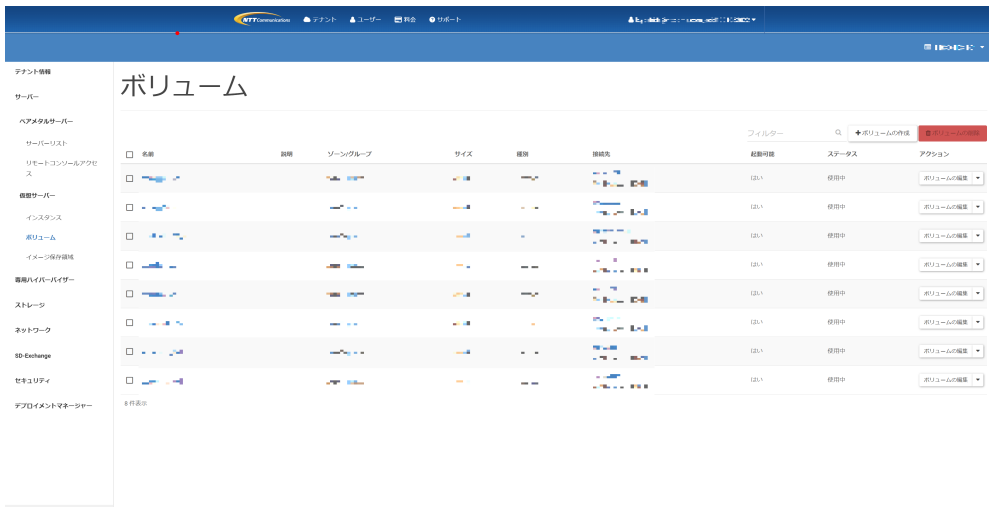
2-2. 設定値入力

インスタンスの作成 モーダルが表示されるので、以下のとおり設定してください。

詳細

No	項目	内容
1	ゾーン/グループ	任意のゾーン/グループを設定してください。
2	インスタンス名	任意のインスタンス名を設定してください。
3	フレーバー	2CPU-8GB
4	インスタンスのブートソース	ボリュームから起動
5	ボリューム	作成したボリュームを指定

設定例は以下のとおりです。



1-2. 設定値入力

ボリュームの作成 モーダルが表示されるので、以下のとおり設定してください。

No	項目	内容
1	ボリューム名	任意のボリューム名を設定してください。
2	ボリュームソース	イメージ
3	イメージをソースとして使用する	WindowsServer-2016_Datacenter_64_include-license_virtual-server_02 (5.4 GB)
4	サイズ(GB)	80
5	ゾーン/グループ	任意のゾーン/グループを設定してください。

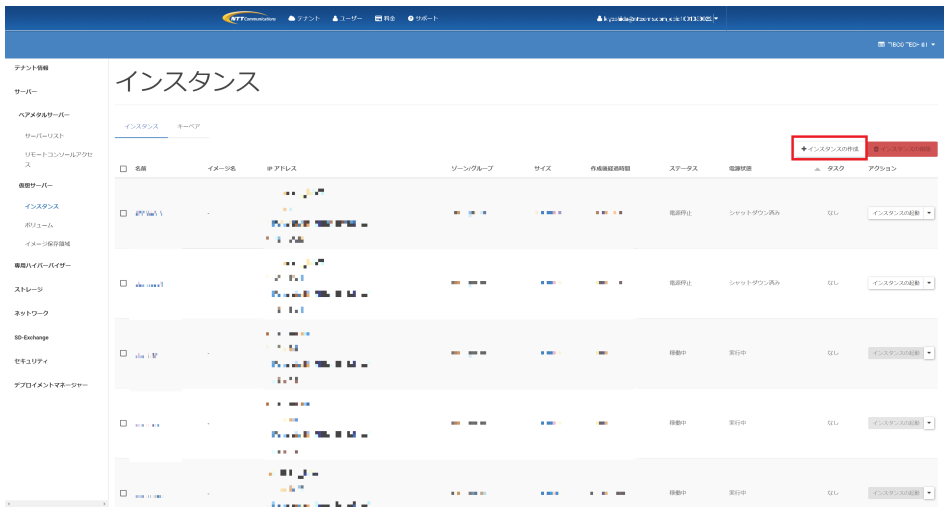
設定例は以下のとおりです。



2. インスタンスの作成

2-1. インスタンスの作成ボタンをクリック

仮想サーバー -> **インスタンス** にて、 **インスタンスの作成** ボタンをクリックしてください。



2-2. 設定値入力

インスタンスの作成 モーダルが表示されるので、以下のとおり設定してください。

詳細

No	項目	内容
1	ゾーン/グループ	任意のゾーン/グループを設定してください。
2	インスタンス名	任意のインスタンス名を設定してください。
3	フレーバー	2CPU-8GB
4	インスタンスのブートソース	ボリュームから起動
5	ボリューム	作成したボリュームを指定

設定例は以下のとおりです。



ネットワーク

仮想サーバーを所属させたいロジカルネットワークを選択してください。

設定例は以下のとおりです。

